

資料2

北九州市生涯学習推進計画 (令和6年度評価)について

北九州市生涯学習推進計画の評価について

(1) 基本的な考え方

令和3年度に策定した「北九州市生涯学習推進計画《“学びと活動の環”推進プラン》」(以下、現計画という。)に掲載された施策及び事務事業を対象として、「令和6年度」の進捗状況を、策定時に設定した指標等に基づいて、有効性などの視点から点検・評価し、施策及び事務事業の今後の推進に活用する。

(2) 評価の方法

ア 評価の実施範囲

【施 策】 現計画を構成する3施策

【事務事業】 158事業（再掲事業を除く）

イ 評価の視点及び表示

(ア) 施策ごとの評価

指標の達成状況、モニタリング項目の推移及び施策の実績・成果・有効性、構成事務事業の進捗状況を踏まえ、評価する。

A : 大変順調 B : 順 調 C : やや遅れ D : 遅 れ

※ 参考：施策の種類

| |
|-------------------------------|
| 柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり |
| 柱2 「学び」と「活動」による人づくり |
| 柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり |

(イ) 施策の指標評価

計画策定時に3施策ごとに指標及び令和7年度の目標値を設定。年度毎に、目標に向けて設定した参考値に対する達成率に基づき、4段階評価を行う。

A : 大変順調 (100%以上) B : 順 調 (90%以上)

C : やや遅れ (70%以上) D : 遅 れ (70%未満)

※ 指標については、今後、生涯学習を取り巻く社会状況の変化等が生じた場合は、必要に応じて見直しを行うこととする。

※ 行政評価の評価基準とは異なる。

参考：行政評価の評価基準（成果指標の達成率を基準に評価）

原則として、120%以上「大変順調」、60%以上「順調」、40%以上「やや遅れ」、40%未満「遅れ」

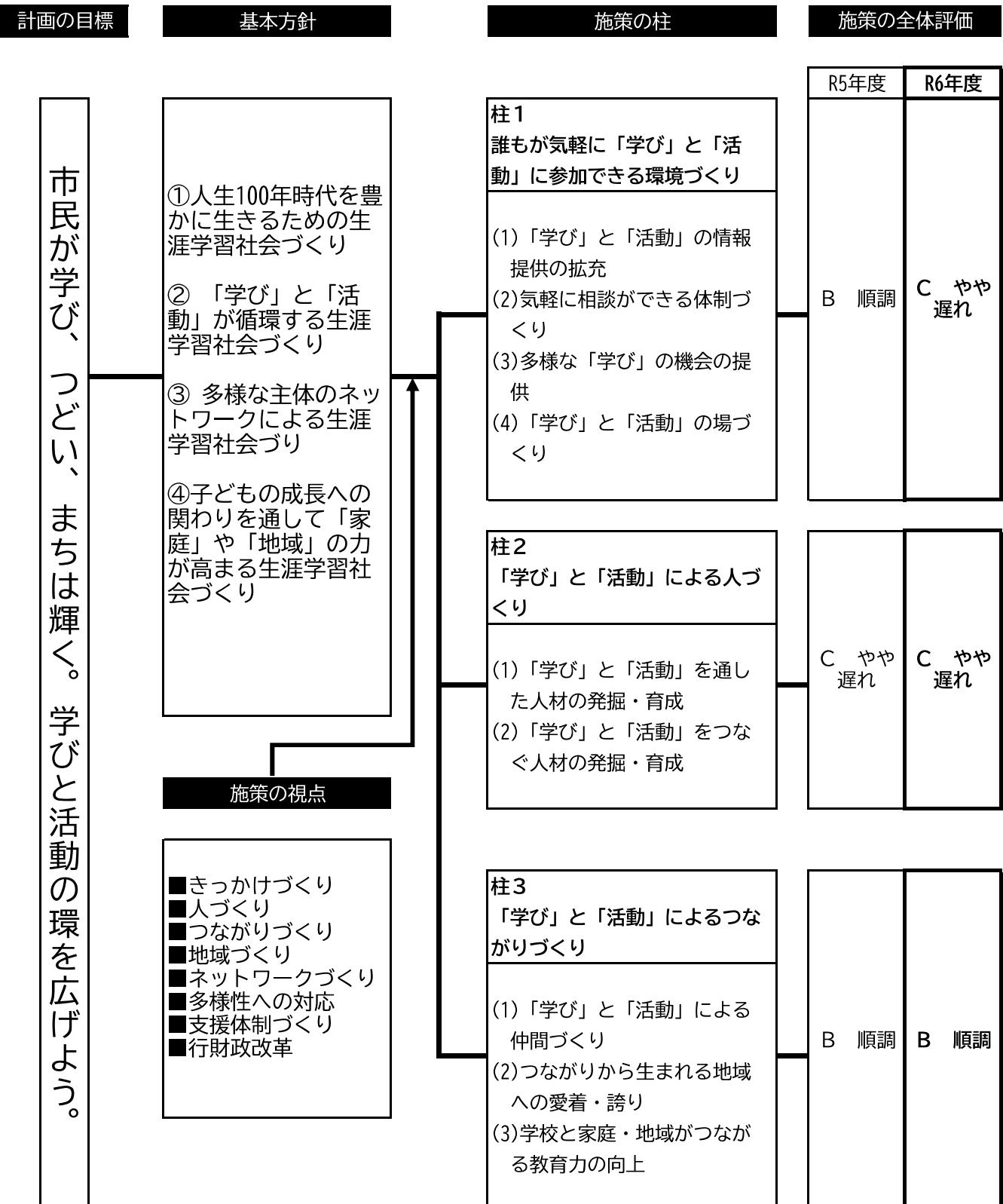
(ウ) 事務事業の進捗状況

各事務事業の実施状況、事業の有効性、効率性、前年度実績との比較等を総合的に判断して、次の4段階評価を行う（目標値等は設定していない）。

a : 大変順調 b : 順 調 c : やや遅れ d : 遅 れ

※ 新型コロナウィルス感染症の影響により、評価できない場合は、評価欄に「-」を記載

北九州市生涯学習推進計画《”学びと活動の環” 推進プラン》の体系と全体評価



施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

1 全体評価

| 令和5年度 | 令和6年度 | |
|-------|--------|---|
| B 順調 | C やや遅れ | <p>(1) 指標の「生涯学習の情報が取得できている人の割合」が、R6年度は36.4%と前年度比4.3ポイント上がり、「過去1年間に学習活動した人の割合」は、R6年度は36.4%と前年度比10.7ポイント下がっている。「学習活動に満足している人の割合」は、R6年度は71.5%と前年度比17.9ポイント下がり、「生涯学習関連施設の利用者数」は、前年度比62万人増加している。</p> <p>(2) モニタリング項目のまなびネットひまわりアクセス件数は、前年度から3,364件増加したが、障害のある人を対象とするスポーツ教室や講座の参加者は減少している。まなびネットひまわり講師登録者数は、前年度から21人増加したが、講師依頼件数は前年度から12件減少した。人材マッチング事業実施件数は、R6年度は195件と前年度から53件減少した。</p> <p>(3) 事業評価表の個別事業については、概ね「順調」であるが「やや遅れ」でいるものもある。</p> <p>総体的には「C やや遅れ」とした。「学び」と「活動」に参加できる環境づくりを促進するため、SNSの活用や関係団体等との協力・連携を強化して、学ぶ機会や活動する機会の情報提供に努めるとともに、地域活動やボランティア活動との人材マッチングを図っていく。</p> |

2 指標等

| ◎指標 | | | | 現状値 | 参考 | | | | | 目標 |
|----------|----------|--------------------------------------|-----|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------|
| R5 評価 | R6 評価 | 指標 | | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| C | C | 生涯学習の情報が取得できている人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 39.8% | 42.3% | 44.9% | 47.4% | |
| | | | 実績 | 37.2% | 42.2% | 45.1% | 38.4% | 32.1% | 36.4% | 50% |
| | | | 達成率 | | | 113.3% | 90.8% | 71.5% | 76.8% | |
| C | D | 過去1年間に学習活動した人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 59.5% | 62.1% | 64.8% | 67.4% | |
| | | | 実績 | 56.9% | 48.9% | 45.9% | 32.6% | 47.1% | 36.4% | 70% |
| | | | 達成率 | | | 77.1% | 52.5% | 72.7% | 54.0% | |
| B | C | 学習活動に満足している人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 89.8% | 91.1% | 92.4% | 93.7% | |
| | | | 実績 | 88.5% | 87.9% | 75.5% | 93.4% | 89.4% | 71.5% | 95% |
| | | | 達成率 | | | 84.1% | 102.5% | 96.8% | 76.3% | |
| A | A | 生涯学習関連施設の利用者数 «各施設所管課集計» | 参考値 | | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | | |
| | | | 実績 | 14,033 千人 | 6,238 千人 | 7,546 千人 | 11,187 千人 | 11,667 千人 | 12,287 千人 | 前年度以上 |
| | | | 達成率 | | | 121.0% | 148.3% | 104.3% | 105.3% | |

A：大変順調（100%以上）

B：順調（90%以上）

C：やや遅れ（70%以上）

D：遅れ（70%未満）

◎モニタリング項目

全18項目中 8項目 9項目 0項目 1項目

| R5 推移 | R6 推移 | モニタリング項目 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------|----------|--|----------------|--------|--------|-----------|-----------|------|
| ↓ | ↗ | ○生涯学習という言葉を知っている人の割合 | 95.5% | 98.5% | 98.5% | 97.2% | 97.4% | |
| ↗ | ↗ | ○まなびネットひまわりアクセス件数 | 13,502件 | 9,610件 | 8,859件 | 9,399件 | 12,763件 | |
| ↗ | ↘ | ○いきがい活動ステーションの利用者数 | 1,042人 | 2,438人 | 5,531人 | 6,687人 | 5,780人 | |
| ↓ | ↗ | ○生涯学習総合センター学習相談件数 | 12件 | 59件 | 183件 | 127件 | 171件 | |
| ↗ | ↘ | ○市民カレッジ受講者数 | 529人 | 721人 | 1,115人 | 1,147人 | 1,062人 | |
| → | ↘ | ○市民カレッジ受講者の満足度 | 99.1% | 99.0% | 98.0% | 98.0% | 97.5% | |
| ↓ | ↘ | ○市立図書館（ひまわり文庫を除く）における市民一人当たりの貸出冊数 | 2.5冊 | 3.2冊 | 3.4冊 | 3.3冊 | 3.2冊 | |
| ↗ | ↗ | ○障害者芸術祭作品展の出展数 | 203品 | 260品 | 225品 | 268点 | 299点 | |
| ↗ | ↘ | ○障害者スポーツ教室・障害者スポーツ大会の参加者数 | 775人 | 766人 | 1,293人 | 1,869人 | 1,493人 | |
| ↗ | ↘ | ○東部・西部障害者福祉会館で行う障害のある人を対象にした講座の開催回数 | 73回 | 72回 | 70回 | 82回 | 66回 | |
| ↗ | ↘ | ○東部・西部障害者福祉会館で行う障害のある人を対象にした講座の参加人数 | 402人 | 610人 | 646人 | 767人 | 647人 | |
| ↗ | ↗ | ○外国人が日本語や日本の生活習慣を学ぶための地域の日本語教室の開催箇所数 | 17教室 | 17教室 | 17教室 | 19教室 | 20教室 | |
| ↓ | ↗ | ○生涯学習市民講座のうち「共生のまちづくり」を学習目標とした講座数 | 107講座 | 123講座 | 156講座 | 146講座 | 159講座 | |
| ↓ | ↗ | ○北九州市立大学i-Designコミュニティカレッジ各領域の履修生数 | コロナにより受入を中止・延期 | 37人 | 48人 | 40人 | 46人 | |
| — | — | ○「本市は生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じる」と回答した人の割合 | 63.3% | 59.5% | 55.1% | アンケート実施なし | アンケート実施なし | |
| ↓ | ↗ | ○まなびネットひまわり講師登録者数 | 223人 | 209人 | 224人 | 123人 | 144人 | |
| ↗ | ↘ | ○まなびネットひまわり講師依頼件数 | 8件 | 9件 | 14人 | 23件 | 11件 | |
| ↗ | ↘ | ○人材マッチング事業実施件数 ※R4からマッチング希望数ではなく、成立件数を計上することとし、R2、R3年度も成立件数に変更した。 | 37件 | 156件 | 123件 | 248件 | 195件 | |

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

| ← 計画 → ← 実績 → ← 評価・方向性 → | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|-------------------------------|--------------------|--|-------------|-------------|--|-----------------------|---------|---------|--------------------------------|---------|---------|----------|--|--|
| 具体的な施策 | 取組番号 | 事業事業 | 所管課 | 概要(目的) | R6年度予算額(千円) | R6年度決算額(千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 |
| ①「学び」と「活動」の情報提供の拡充 ①「学び」と「活動」の一元的な情報提供 | ① 1 | 「まなびネットひまわり」(管理運営) | 総務市民局生涯学習総合センター | ホームページ「まなびネットひまわり」を活用して、年内の生涯学習に関する学習機会や講師の情報等、様々な情報を一元的に提供し、生涯学習活動の促進を図る。 | 217 | 200 | 関係機関への情報提供の呼びかけや講師登録に対する問い合わせの対応を行った。 | まなびネットひまわりへのアクセス数 | 9,399件 | 12,763件 | 過去1年間に生涯学習活動をした割合(生涯学習活動への参加率) | 47.1% | 36.4% | c:やや遅れ | HPへのアクセス数は増加しているが、生涯学習活動への参加率は低下したため「やや遅れ」と判断。 | 興味を惹く、より多くの講座情報を一元的に提供することによって効率化され、学習から活動へ、そして活動から学びへ繋がる「生涯学習活動の促進」に寄与する。 |
| | ① 2 | 高齢者いきがい活動支援事業 | 保健福祉局長寿社会対策課 | 高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア・生涯学習情報等に関する情報の収集・提供等を行う。 | 9,700 | 9,479 | R6年8月よりいきがい活動ステーションを男女共同参画セルフマープヘル転 | 利用者数 | 6,687人 | 5,780人 | 利用者アンケート満足度 | 100.0% | 100.0% | b:順調 | 移転準備として1ヶ月休館したことで、R5年度に比べ利用者数は減少したが、アンケート結果は良好であったため「順調」と判断。 | スマホ講座や終活等、高齢者の新たな情報ニーズに対応するところに、今後は就労支援機能の付加等を図りながら、高齢者の社会参加やいきがいづくりの推進を行う。 |
| | ② 3 | 生涯学習総合センター情報発信事業「ユーレタ『まいにひび』」 | 総務市民局生涯学習総合センター | 生涯学習センター主催事業や生涯学習関連情報を掲載した市民向けの情報紙を発行する。 | 予算措置なし | 予算措置なし | 令和6年4月1日号を以て、終了(令和6年3月納品分)。 | 発行部数 | 14,000部 | 0部 | 年間発行回数 | 4回 | 0回 | - | 令和6年4月1日号を以て、終了(令和6年3月納品分)。 | 令和6年5月からは、「まいにひびユーレタ(瓦版)」として毎月発行。コミュニティ支援課や市民センターへの配布、noteへの掲載により、市民力レジデンスを中心とした講座案内を行っている。 |
| | ① 4 | 生涯学習総合センター学習相談事業 | 総務市民局生涯学習総合センター | 施設ボランティアの協力のもと、学習相談コーナーを定期的に開設し、生涯学習に関する様々な相談にきめ細かく対応する。 | 予算措置なし | 予算措置なし | 施設ボランティアの協力のもと、生涯学習相談やパソコンなどでも相談等を毎週実施する。R6年9月からは、パソコン相談とは別に週1回スマホ相談を実施した。 | 学習相談事業の相談件数(延べ相談者数) | 127件 | 171件 | 相談者の相談内容に対する問題解決率 | 100.0% | 100.0% | b:順調 | スマホ相談をえたことにより、44件の相談件数増となり全体として見れば順調である。一方で、その他の相談件数は折合に留まつおり、相談者を取り込めていない。 | パソコン相談以外の学習相談についても、広報等により周知を図り利用者増につなげていきたい。 |
| | ① 5 | 生涯学習市民講座の充実 | 総務市民局生涯学習課 | 市民の学習活動を支援し、一人一人が健康で心豊かな生活を送り、個人のいきがいづくりや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、地域課題や社会的課題を解決するため、各市民センター等で幅広い分野にわたる講座を実施する。 | 9,781 | 9,129 | 各市民センターにおいて、「共生のまちづくり」「学び」を通して地域で活躍できる人材の育成・環境意識の高揚」「男女共同参画推進」「健康新づくりの支援」「ここから、青少年の健全育成」「安心・安全のまちづくり」「人権文化のまちづくり」「シビックプライドの醸成」の9つの分類の講座が95講座開催され、延べ94,551人の参加があった。 | 生涯学習市民講座数 | 891件 | 851件 | 生涯学習市民講座参加者数 | 97,014人 | 94,551人 | b:順調 | 活動指標である市民講座数はR5年度から微減しており、成果指標である市民講座参加者数は前年度比9.7%であった。 以上のことから「順調」と判断。 | より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター・館研修会を開催し、多くの方に多様な学習方法を提供していく。 また、公式LINEによる市民センター情報の発信を継続しSNSの活用を検討していく。 事業実施手法や情報発信手法では、市民セミナー・館研修会・職員等研修を活用しながら引き続き検討していく。 |
| | ① 6 | 北九州市民カレッジ事業 | 総務市民局生涯学習総合センター | 市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進及び「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。 | 4,134 | 3,055 | R6年度の実績として、受講者数1,062人(内スポット受講172人)で前年度に比べ85人減となっており、申込者の割合も減少傾向にある。また、全体受講者の約73%を60歳代以上が占めている。現役世代を取り込み、受講後の「学び」から「活動」につながるような講座の実施・展開について、検討していく必要がある。 | 講座数 | 52件 | 51件 | 受講者数 | 1,147人 | 1,062人 | b:順調 | 講座数、受講者数とともにR5年度を下回っているが、スポット受講の受講者数は増加しており、比較的若い世代も取り込むことができている。また講座の満足度も高い水準を維持できているため「順調」と判断。 | 定員を満たした講座は、R6年度は50講座中49講座(放送大学コラボ講座含む除く)のままであった。(R5年度は51講座中14講座) 内容や時間確保等の見直し、大學生の高等教育機関と連携して、市民のニーズや現代的問題に対するテーマについて検討を行う。受講者層の幅を広げるとともに、受講後の活動につながる講座となるよう工夫し、取り組んでいく。 |
| | ① 7 | 北九州ひとみらいブレイスの充実 | 総務市民局八幡西生涯学習総合センター | 各施設の特徴や専門性を生かし、子供から高齢者まで、年齢、国籍、文化、障害の有無を問わず、若者成長の支援、あらゆる世代の学びの充実、さまざまな団体の活動支援、すべての市民の交流促進に取り組み、幅広い人づくりを支援する。 | 2,600 | 1,849 | 1. 人づくり支援事業 グローバル人材育成事業 パネル展を除き、6事業実施。 参加者計763名 2. 連携事業「気ままにセミナー」 10講座実施。 受講者数214名 3. にぎわい創出事業「ひとみらい交流マンスル」 期間 R6年10月2日～R6年11月23日 参加者 32,607名(関連事業も含める) | 北九州ひとみらいブレイス11施設の集客人数 | 87万人 | 95万人 | 北九州ひとみらいブレイスで実施する講座、セミナー等の満足度 | 98.9% | 97.3% | | 新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少していた11施設の集客人数は、年々回復傾向にある。 R4年度以降、これまでの「ひとみらい交流マンスル」を「ひとみらい交流マングル」へと事業期間を拡大し、各施設で集中して事業を実施するとともに、構成施設が共同で行う事業にも着手した。集客状況は改善し、施設間の連携強化を図りにぎわい創出に繋げることができた。 さらに、講座・セミナー等の満足度については、高水準を維持していることから「順調」と判断。 | ひとみらいブレイス構成施設間の連携強化により、多様な層の参加・交流実績に繋がる事業を検討し、引き続きひとみらいブレイスの認知度向上に努める。 |
| | ① 8 | 年長者研修大学校(周望学舎・穴生学舎) | 保健福祉局長寿社会対策課 | 高齢者に対して教養、健康、レクリエーション等の研修の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会活動の促進及び地域活動を担う高齢者の人材育成を図る。修了生の組織でボランティア活動を実施する。 | 146,483 | 146,686 | 『実績』 令和6年度受講者数：822人 年間コース実施数：穴生学舎1,110回、周望学舎1,104回 | 年間コース実施数 | 30件 | 30件 | 総合的な満足度 | 97.8% | 97.2% | b:順調 | コロナ禍以前に比べて受講者数が少ない状況が続いているが、アンケートによる総合評価が良好であったため「順調」と判断。 | 地域活動を担う人材育成の場としての機能強化と、新たに武学研究会やDX等の取組みを進めていくとともに、他部局事業との連携強化を図っていく。 |

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

| 計画実績評価・方針向性 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------|------------------------------|---------------------|---|-------------|-------------|---|--|---------------------------|---------------------------|--|--|--|---|---|---|
| 具体的な施策 | 取組番号 | 事業事業 | 所管課 | 概要(目的) | R6年度予算額(千円) | R6年度決算額(千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 |
| ②ライフステージや多様性に応じた学習機会の提供・充実 | ① 9 | ESD推進事業 | 環境局 環境学習課 | 持続可能な社会の実現に向けて、産学官民の多様な主体から成る「北九州ESD協議会」を「ラバーブルブル」として、環境はもとより人権・平和など幅広い視野から総合的に取り組む人材の育成を図る。【ESD=持続可能な開発のための教育】 | 16,000 | 12,752 | 「ESDツキイチの集い」「韓国スタイルディツア」「交流イベント」「ESD出前講座」など、学びとネットワーク形成を目的とした各種事業を継続的に実施した。 | 活動団体登録数 | 95団体 | 95団体 | アンケート調査における「持続可能な社会づくり」を意識している市民の割合 | 91.2% | - | b:順調 | 「会員が主体となる組織運営」の実現に向けて、R5年度に実定した新たな運営体制を本格的に構築された。また、国内RCE実務者会議では、北九州のESDの成果を発信し、会議の企画・運営によるコースが中心に開催されるなど、運営主体の協働の成果が顕著に現れたため、「順調」と判断。 | ESDの実践の場としての協議会機能をより一層強化し、ユース世代の参画と育成、新規団体の参入促進、地域を超えたRCEネットワークの進捗強化など、次のステージに向けた基盤づくりに注力する。 |
| | ① 10 | デジタル活用講座 | 政策局DX・AI推進室 | 社会のデジタル化が進展する一方、2020年市民調査では約25%の市民がインターネットを利用していない状況であり、インターネット未利用理由で上位の「機器操作が難しい」等の課題に対応するため、高齢者等、スマートフォン等の操作に不慣れな方がスマートフォン等の操作にチャレンジするための第一歩となるような講座を市民センターと連携して実施する。 | 予算措置なし | 予算措置なし | 市民センターにて、スマートフォンの操作に不慣れな方を対象に、スマートフォンの基本操作等を体験する「デジタル活用講座」を実施。(3)施設、40回、受講人数は延べ564人。) | 講座の実施 | 1,244回 | 40回 | 市民のインターネット利用率(5年に1回の調査) ※直近の調査はR1年度で74.8% | | R6調査 85.9% | a:大変順調 | 多くの高齢者等、スマートフォンの操作に不慣れな方に受講いただけたこと、成果指標である市民のインターネット利用率が上昇したことから、「大変順調」と判断。 | 今後も継続的に講座を実施し、市民のデジタル活用へのきっかけづくりに努めたい。 |
| | ②-1 11 | 育児サークル・フレースベース活動への支援 | 子ども家庭局 こども若者成育課 | 乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフレースベースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。 | 5,390 | 6,273 | 育児サークル及びフレースベースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援した。 | 子育てに関わる団体等への補助件数 | 119件 | 107件 | 市内で活動する育児サークル等の団体数 | 438団体 | 443団体 | b:順調 | 市内で活動する育児サークル等の団体数が5件増加した。市内で活動が順調に継続していることから、「順調」と判断。 | 子育てにかかる団体の自主的活動を活性化させるため、支援内容について継続的に検討していく。 また、コーディネーターの配置により同士の横のつながりの構築、親子ふれあいルーム等との連携を図る。 |
| | ②-1 12 | 親子ふれあいルーム運営事業 | 子ども家庭局 こども若者成育課 | 子育て中の親と子が気軽に集い、相互に交流を図る場である親子ふれあいルームを運営し、施設の充実や利便性の拡大、相談対応の充実などの機能強化を図る。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と連携し、ネットワーク化を図り、地域における子育て支援に取り組む。 | 38,627 | 38,457 | 親子ふれあいルームを運営し、施設の充実、相談対応の充実などの機能強化を図った。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体等と連携し、ネットワーク化を図り、地域における子育て支援に取り組んだ。 | 親子ふれあいルーム実施箇所数 | 区役所等 7ヵ所 児童館 9ヵ所 | 区役所等 7ヵ所 児童館 9ヵ所 | 親子ふれあいルーム利用者数(乳幼児数) | 31,779人 | 33,497人 | b:順調 | 多くの乳幼児とその保護者に利用され、親子同士の交流や子育てへの不安や負担の解消に寄与していることから「順調」と判断。 | 親子ふれあいルームの質の向上や利便性を図るために、運営スタッフとの研修の実施など更なる取り組みを検討していく。 |
| | ②-2 13 | 青少年体験活動の啓発・広報の推進 | 子ども家庭局 こども若者成育課 | 市や市民団体・NPO団体等が実施している青少年体験活動についての情報発信を行う。 | 824 | 1,034 | ・年2回発行(夏号・冬号) ・原稿掲載月(夏号→7~10月)(冬号→11~3月) ・市内小学校全校配布 他 ・1回50,000部 作成 | キッズチャレンジの発行 | 2回 | 2回 | 事業掲載団体数および事業数 | (夏号) 13団体 30事業 (冬号) 13団体 35事業 | (夏号) 13団体 30事業 (冬号) 17団体 34事業 | b:順調 | 体験活動情報誌「キッズチャレンジ2024」では各団体のイベント情報を掲載し、大変好評いただいた。 また、掲載記事の調整をすることにより、掲載団体数が増加したことから、「順調」と判断。 | 掲載原稿数を拡大するため、A5冊子からA4冊子への変更を検討している。 また、団体の活動情報をより多く発信するため、希望団体による貢献紙への実施を検討している。 配布冊子を市のフリースマートカルを加えることで事業の周知を図る。 |
| | ②-3 14 | 北九州市立大学i-Designコミュニケーションカレッジ | 北九州市立大学 (政策局総務課) | 当カラッジのためにデザインされた必修科目と、大学の多彩な科目の中から学生と一緒に学ぶ科目を選択できるプログラムを提供し、社会人の学び直しを支援する。 | | | R6年度は、「学問と人生」、「地域創生」、「こうの科学」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのクリエイティブ基礎」の5つの領域を開講した。なお、これまでの学年の学習の領域においては、従来の夜間開講に加え、新たに昼間に開講し、昼夜開講とした。 | i-Designコミュニケーションカレッジの実施 | 履修生数 40名 | 履修生数 46名 | | | a:大変順調 | 一定数の履修生数を得ており、R6年度修了生の満足度は94%と高い評価を得ているため「大変順調」と判断。 | R7年度は、「地域創生」、「こうの科学(昼夜開講)」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのクリエイティブ基礎」の領域を開講する。「学問と人生」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのクリエイティブ基礎」の領域は開講しない。その後進むとなる新領域を新たに昼夜開講へ向けて、準備を進めることで、次年度へ向けて、広報活動を幅広く行い、より多くの履修生の受け入れを目指す。 | |
| | ②-5 15 | 日本語教育体制整備事業 | 政策局 国際政策課 | 日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民のために、日本語教室を運営するとともに、市内で日本語学習支援を行っているボランティアグループ(13団体)との連携や、助成金の交付、広報協力、スキルアップ研修などを実施することで、日本人と外国人との相互理解および学習機会の充実を図る。 | 6,530 | 8,322 | (公財)北九州国際交流協会において学習者のニーズに合わせた4つの日本語教育や文化会を開催する。日本語教材・教材に対する研修や企業・団体・学校からの外外国人受け入れ団体へのアドバイスおよびモデル事業の実施など、日本語教育の推進を多角的に取り組んだ。 | 日本語教育に関する事業の実施 (公財)北九州国際交流協会が主催する日本語教室数 | 4教室 | 4教室 | (公財)北九州国際交流協会が主催する日本語教室開催実績 延べ参加人数 | 134回 504人 | 170回 409人 | b:順調 | 成人向けの日本語教室に関しては、学習者の利便性を第一に考え、教室への移動などが不要となるオンラインを活用した授業を実施し、かつ、学習者の年齢や苦手意識に合わせた質の高い教室運営を継続している。 児童向けは、保護者との二Way型熱意を考慮してオンラインか対面形式のやり方に変え、児童生徒のニーズに指導が受けられるようになっている。 日本語教室開催の実績がなかった。R7年度は試行的に真面目と入学前の期間の教室を開催した。 以上より「順調」と判断。 | (公財)北九州国際交流協会主催の日本語教室の円滑な運営に加え、地域の日本語教室への運営支援を継続する。 また、学習者に対してさらに効果的な日本語教育を提供するため、教室の再編成について検討する。 |

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

| 計画実績評価・方針性 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--------|--------------------------------|--------------------------------------|--|-------------|-------------|---|-------------------------------|----------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|----------------------|----------|---|---|
| 具体的な施策 | 取組番号 | 事業事業 | 所管課 | 概要(目的) | R6年度予算額(千円) | R6年度決算額(千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 |
| ③現代的・社会的な課題の解決に向けた学習機会の提供・充実 | ②-5 16 | 社会参加講座開催事業（障害者福祉社会事業の一部） | 保健福祉局 障害福祉企画課 | 障害のある人の日常生活に役立つ知識の習得や、社会参加の促進を図る。 | 1,716 | 1,587 | 社会参加講座を広く周知するため、今年度は講座回数は減らし、出前講演等を積極的に行つた。 | 講座開催回数 | 82回 | 66回 | 講座開催回数 | 82回 | 66回 | b:順調 | R5年度に比べて講座の回数は減少したが、ニーズに合った講座を行ふことで、多くの市民に満足をしていただいたため「順調」と判断。 | 引き続き、障害のあるの自立の援助や生きがいを高める講座を開催していく。また、アンケート調査等を通じて、講座の内容を精査し、ニーズに基づいた講座実施に努める。 |
| | ②-5 17 | 障害者スポーツ教室等開催事業 | 保健福祉局 障害福祉企画課 | 障害のある人がスポーツを通じて体力の維持・増強、機能回復を図る。 | 2,360 | 2,360 | 昨年度よりも教室の回数を増やし、幅広い人に参加していただくことが出来た。 | 障害者スポーツ教室等開催回数 | 81回 | 95回 | 障害者スポーツ教室等参加者数 | 1,622人 | 1,222人 | b:順調 | R5年度は新規の団体参加が多く、参加人数が大幅に増えた。R6年度も開催回数を増やすし、例年並みの参加者数であったため「順調」と判断。 | アンケート調査の結果も参考にしながら、引き続き多くの人が参加しやすい教室の開催に努める。 |
| | ②-5 18 | 北九州市障害者芸術祭 | 保健福祉局 障害福祉企画課 | 障害のある人の芸術・文化活動への参加を通じて、本人の生きかいや自信を刷出し、社会参加を推進するため、北九州市障害者芸術祭（ステージイベント、作品展）を開催する。 | 2,360 | 2,360 | 昨年度に引き続き、ふれあいフェスタ2025と合同で開催した。 | 障害者芸術祭の開催 | 有 | 有 | 障害者芸術祭出展数 | 263点 | 299点 | b:順調 | 出展数については、過去最多の299点となった。来場者数について、多くの人に楽しんでもらっているため「順調」と判断。 | 関係団体と連携を図り、より多くの人に障害のある人の芸術を知ってもらえる機会になるように、引き続き努める。 |
| | ③-1 19 | 人権市民講座 | 教育委員会 企画調整課 | 人権問題に関する市民の正しい理解と認識を深めるため、市民センターにおいて人権学習を推進する。 | 7,306 | 6,716 | 市民センターで実施 | 人権市民講座実施回数 | 370回 | 365回 | 人権市民講座参加者数 | 11,533人 | 11,548人 | b:順調 | 講座の実施回数は前年を僅かに下回ったものの、人権市民講座への参加者は増加したため「順調」と判断。 加えて、講座形式にとらわれず、市民が人権に触れる機会を積極的に提供することができた。 【人権に関する話題提供】実施回数：41回 人数：42,364人 | 市民が参加しやすい人権市民講座の実施に向けて、新任館長研修や人権をちぢづ講演会等の場を通じて、市民センター長や職員の質質向上を図る。 また、引き続き、市民が日常的に人権に触れる機会を積極的に提供する。 |
| | ③-3 20 | 企業や地域等でのワーク・ライフ・バランスの取り組み支援 | 政策局 Women's推進室（旧 総務市民局女性の輝く社会推進室） | 企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働きかける。 また、毎月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、その意義や必要性を企業等事業者や市民に周知する。 | 4,359 | 3,806 | 北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰受賞者数（累計）：94社 ワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣：28回 | 北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰受賞者数（累積） | 90社 | 94社 | 仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合 | 62.7% | 62.8% | b:順調 | 女性活躍・ワークライフバランス表彰では新たに4社が受賞し、累計が94社となった。 また、女性活躍やワークライフバランスの推進に取り組む企業へのアドバイザー派遣、各種セミナー開催などの支援について、申請件数はR5年度とほぼ同程度（R5：28件、R6：28件）であり、これまでの取り組もうとした企業の参考となるよう、市内の様々な業種の企業の先進的な取り組ぎ例をホームページで紹介するなど、周知方法工夫しながら実施することができた。 加えて、仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合は、前年度と近い水準を維持しているため、「順調」と判断。 | 企業については、仕事と生活の割合がその後さらに上昇していくよう、引き続き、各種支援を通じて、意識改革の一層推進していく。また、事業のニーズを踏まえ、効率的・効果的な事業実施を検討していく。 |
| | ③-4 21 | 読み聞かせ・読書ボランティア養成講座 | 教育委員会 子ども図書館 | 読み聞かせ、子どもの豊かな感性と知的好奇心を育むため、読み聞かせなどを行えるボランティアの育成を図る。 | 311 | 259 | 4講座（初級・中級・ストーリーテリング・ブックトーク）を計1回実施した。 | 読み聞かせボランティア養成講座の開催数 | 4回 | 4回 | 読み聞かせボランティア養成講座の受講者数 | 170人 | 205人 | b:順調 | 講座は例年通りの回数が実施でき、受講者数も増加したため「順調」と判断。 | 読書をする子どもを増やすには、大人の協力は欠かせない。子どもが読書活動に親しみ、読の大切を知ることができるように、力強く支える大人を増やし、市立図書館や学校など市内で活動している読み聞かせボランティアなど読書に係るボランティアの育成、連携支援に取り組む。 |
| ④生涯学習実施機関のネットワークによる学習機会の充実 | ③-6 22 | DIG（住民参加型災害団士訓練）・HUG（避難所運営ゲーム） | 危機管理室 危機管理課 | DIG（ディグ）は、参加者が自分たちの住む町の地図を読み、書き込みを行しながら議論することで、わがまちに起こりうる災害像をより具体的にイメージできる訓練。 HUG（ハグ）は、避難所に見立てた構造紙や避難者に見立てたカードなどを活用し、参加者がプレイヤーとなり、避難所で起きた様々な出来事に対してゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ訓練。 | 914 | 560 | 市民からの申し込みにより、DIG 10回実施し、647人が参加した。 HUG 7回実施し、368人が参加した。 | 訓練参加人数 | DIG 951人 HUG 273人 | DIG 647人 HUG 368人 | 訓練参加人数 | DIG 951人 HUG 273人 | DIG 647人 HUG 368人 | c:やや遅れ | R5年度の訓練参加人数より減少しているため「やや遅れ」と判断。 R5年度の訓練参加人数：HUG 1,224人 R6年度の訓練参加人数：HUG 1,015人 | 市のホームページの更新やSNSでの広報等を通じ、DIG及びHUGの実施について周知を図っている。 また、出前講演等の機会を捉えて、DIG及びHUGのチラシを配布する等、引き続き広く市民に参加を呼び掛ける。 |
| | ④ 23 | 学びから活動への仕組みづくり | 総務市民局 生涯学習総合センター | 行政や大学など様々な学習の場で、学んだ人にアンケートを行い、「学んだ成果を活動に活かしたい」と答えた人々、市民センターや市民活動推進課、ボランティア・市民活動センターを通じて、活動を行っている団体（自治会・まちづくり協議会、NPO・ボランティア等）へつなぐ事業を実施する。 | 予算措置なし | 予算措置なし | R6年度のマッチング実績について、市民センターで実施される生涯学習講座と市民カラッジのマッチング希望者1,436人（R5年度1,623人）のうち、成功件数は195件（R5年度248件）であった。 | | | | 人材マッチング事業実施件数 | 248件 | 195件 | c:やや遅れ | R5年度に比べ、マッチング希望者数、成功件数とも下回っており、特に市民カラッジからのマッチング成功件数は0件（R5年度15件）であったため「やや遅れ」と判断。 | 市民カラッジについては、受講者へのアンケートや情報提供を積極的に行なう、「学び」から「活動」に繋げ、循環型生涯学習社会の実現に向けマッチングの方法等について見直しを図っていくたい。 |

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

| 計画 | | | | | | | | | | | 実績 | | | | | | 評価・方向性 | | |
|---|------|------------------------|---------------------|---|-----------------|-----------------|---|-------------------|----------|----------|------------------|----------|----------|----------|--|--|--------|--|--|
| 具体的な施策 | 取組番号 | 事業事業 | 所管課 | 概要(目的) | R6年度予算額(千円) | R6年度決算額(千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 | | | |
| (4) 学びと活動の場づくり ①学んだ成果を生かす仕組み ②生涯学習関連施設の整備 | ① 24 | 「まなびネットひまわり」(講師登録及び依頼) | 総務市民局生涯学習総合センター | 「まなびネットひまわり」の機能である講師登録及び、講師を依頼したい人や登録講師とのマッチングをすることで「学び」と「活動」の循環を目指す。 | まなびネットひまわりに含まれる | まなびネットひまわりに含まれる | 講師依頼に対するマッチングを行った。 | まなびネットひまわりへのアクセス数 | 9,399件 | 12,763件 | まなびネットひまわり講師依頼件数 | 23件 | 11件 | c:やや遅れ | HPへのアクセス数は前年度から増加しているものの、講師依頼件数は減少したため「やや遅れ」と判断。 | 登録講師の活用の増加を図るために、市民センターへの周知等、より一層のPRに努めていく。 | | | |
| | ① 25 | 市民センタークラブ | 総務市民局生涯学習課 | 生涯学習市民講座終了後、さらに継続的な学習を希望する人々で作られたクラブや自主的なサークル活動からスタートしたクラブ活動を支援、促進する。 | 予算措置なし | 予算措置なし | クラブ登録数 3,999(R7.4.1現在) | | | | 地域社会の発展に向けた貢献 | 100.0% | 100.0% | b:順調 | R6年度から活動要綱を改正し、クラブの活動形態が市民センタークラブと自主学習グループ、多目的利用クラブなど。そのため、市民センタークラブ数はR5年度より減少しているが、様々な形態で活動ができるため「順調」と判断。 | 円滑なクラブ等の運営のため、市民センタークラブ、自主学習グループ、多目的利用の整理を行う。 | | | |
| | ② 26 | 美術館企画展充実事業 | 都市ブランド創造局美術館 | 美術館において、多彩で魅力ある展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。 | 110,025 | 84,191 | 開館50周年であったため、年度を通じて大型企画展を開催した。R6.4.1より分館が休止となったが、入館者総数は、前年度を上回ることとなった。 | 展覧会開催回数 | 114回 | 100回 | 美術館入館者数 | 138,767人 | 195,862人 | b:順調 | 令和6年度は分館が休止したが、入館者総数は大きく前年を上回ったため「順調」と判断。 | 令和6年度は開館50周年記念により大型展覧会を開催し、例年より注目度が高かったことが前年に比べて大幅な入館者増に影響したとも考えられる。 | | | |
| | ② 27 | 博物館企画展・特別展充実事業 | 都市ブランド創造局自然史・歴史博物館 | 入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催し、さらなる賑わいの創出を図る。 | 55,500 | 53,524 | 「ゾクゾク発見!両生類・は虫類展」や「お菓子のかじかばなし展」など特別展を5回実施。 | 企画展・特別展入館者数 | 131,469人 | 165,404人 | 博物館総入館数 | 431,278人 | 472,957人 | a:大変順調 | 入館者数が目標を大きく上回っていることから評価は「順調」と判断。 | 今後も魅力のある展示を開催するとともに、国内外の観光客等の誘致における、更なる効果的な広報PRや、団体客誘致のための取り組み等を行う必要がある。 | | | |
| | ② 28 | 平和のまちミュージアムの運営 | 総務市民局平和のまちミュージアム事務局 | 戦争被災、戦時下の人々の暮らし等に関する資料の収集、保存、展示等を行うこと等により、戦争の悲惨さを伝え、もって市民が平和の大切さや命の尊さを考えるきっかけとする。 | 22,953 | 22,002 | 「北九州市平和のまちミュージアム」の円滑な運営に努め、様々な企画展やイベントの開催等により、ミュージアムの周知、来場促進を図った。 | 利用者数 | 21,230人 | 15,741人 | 利用者数 | 21,230人 | 15,741人 | c:やや遅れ | 他都市(他館)との連携による企画展の開催等、平和に向けた取り組む若者団体の活動支援などに取り組んだが、年間来館者数が当初の目標を下回っており、「やや遅れ」と判断。 | 平和のまちミュージアムへの来館者を増加させるため、引き続き企画力の企画展・イベント等を実施するとともに、学校や地域と連携し、平和学者の拠点としての機能向上を図る。 | | | |
| | ② 29 | 北九州市科学館スペースLABO運営経費 | 都市ブランド創造局科学館 | 北九州市科学館スペースLABOを魅力ある施設として運営することにより、将来を担う技術系人材の育成や東田地区全体の賑わいに寄与するため、常設展及びプラネタリウムの運営に加え、教育普及講座や特別企画展等を実施した。 | 503,632 | 485,735 | 将来を担う技術系人材の育成や東田地区全体の賑わいに寄与するため、常設展及びプラネタリウムの運営に加え、教育普及講座や特別企画展等を実施した。 | 入館者数 | 398,883人 | 338,387人 | 入館者数 | 398,883人 | 338,387人 | c:やや遅れ | 入館者数及びクラブ活動講座等の参加者が前年を下回っており、「やや遅れ」と判断。 | 引き続き、未来の人材育成に資する事業に努めるとともに、近隣施設と連携した取組を実施する。 | | | |
| | ② 30 | 折尾まちづくり記念館の運営 | 総務市民局地域振興課 | 折尾のまちづくりの歴史に関する情報の収集及び提供を行うとともに、住民等の交流及び自主的活動の場を提供することにより、折尾のまちづくりを推進する。 | 17,510 | 17,510 | 【指定管理】 開館以降、利用者や満足度は継続して高く、地域の方を中心多く活用されている。 また、近隣の教育機関と連携したイベントの実施を行うなど、主催事業にも力を入れており、幅広い世代の利用促進に繋がった。 | イベント開催回数 | 95回 | 62回 | 入館者数 | 143,274人 | 200,038人 | b:順調 | 折尾のまちづくりの歴史に関する資料の収集数や交流イベントの開催数など目標値を上回っているため「順調」と判断。 | 【指定管理】 施設の運営目的への理解度を深めるとともに、体系的に計画的な事業の展開を行う。 また、折尾のまちづくりに資する施設として、まちづくりの視点で、地域との連携の強化を図る。 | | | |

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

1 全体評価

| 令和5年度 | 令和6年度 | |
|--------|--------|--|
| C やや遅れ | C やや遅れ | <p>(1) 指標では、「ボランティア登録人数」が、R6年度290人減少して前年度比2.5ポイント下がっている。「地域活動に参加した人の割合」は30.7%と前年度比1ポイント上がっている。「『学習成果を地域活動やボランティア活動など社会に貢献したい』と回答した人の割合」は、89.3%と前年度比7.5ポイント上がっている。「『地域活動のリーダーやボランティアが増加していると感じる』と回答した人の割合」は、26.0%となっている。</p> <p>(2) モニタリング項目では、ボランティア大学校の研修の受講者数、子育てサポーター登録者数は、前年度から減少している。年長者大学校修了生の地域活動への参加状況は、72.0%で前年度比18ポイント上がり、ボランティアコーディネーターによるコーディネートした件数も前年度比117件増加しているが、生涯学習推進コーディネーターの配置割合は、30.0%で前年度比6.9ポイント下がっている。</p> <p>(3) 事業評価表の個別事業については、概ね「順調」である。</p> <p>総体的には「C やや遅れ」とした。ボランティア活動に関する研修受講者や登録人数等の一部に減少傾向が見られることから、新たな人材の発掘・育成に努めるとともに、ボランティア活動や地域活動に参加している人のスキルや満足度がさらに高められるよう図っていく。</p> |

2 指標等

| ◎指標 | | | | 現状値 | 参考 | | | | 目標 | |
|----------|----------|--|-----|--------|--------|--------|--------|-----------|--------|-------|
| R5 評価 | R6 評価 | 指標 | | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| A | B | ボランティア登録人数 «所管課集計» | 参考値 | | | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | |
| | | | 実績 | 22,858 | 19,497 | 17,075 | 18,320 | 18,479 | 18,189 | 前年度以上 |
| | | | 達成率 | | | 87.6% | 107.3% | 100.9% | 98.4% | |
| D | D | 地域活動に参加した人の割合 «市民アンケート調査» | 参考値 | | | 46.0% | 50.0% | 50.0% | 50.0% | |
| | | | 実績 | 42.1% | 33.9% | 32.0% | 29.2% | 29.7% | 30.7% | 50% |
| | | | 達成率 | | | 69.6% | 58.4% | 59.4% | 61.4% | |
| C | B | 「学習成果を地域活動やボランティア活動など社会に貢献したい」と回答した人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 87.7% | 89.5% | 91.4% | 93.2% | |
| | | | 実績 | 85.9% | 81.7% | 93.5% | 95.6% | 81.8% | 89.3% | 95% |
| | | | 達成率 | | | 106.6% | 106.8% | 89.5% | 95.8% | |
| - | D | 「地域活動のリーダーやボランティアが増加していると感じる」と回答した人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 34.5% | 38.4% | 42.2% | 46.1% | |
| | | | 実績 | 30.6% | 37.5% | 30.1% | 32.4% | アンケート実施なし | 26.0% | 50% |
| | | | 達成率 | | | 87.2% | 84.4% | — | 56.4% | |

A : 大変順調 (100%以上)

B : 順調 (90%以上)

C : やや遅れ (70%以上)

D : 遅れ (70%未満)

◎モニタリング項目

全12項目中 ↗ 4項目 ↘ 7項目 → 1項目 ━ 0項目

| R5 推移 | R6 推移 | モニタリング項目 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------|----------|------------------------------------|--------------|--------|--------|--------|--------|------|
| ↗ | ↘ | ○ボランティア研修の受講者数 | 2,174人 | 1,781人 | 1,853人 | 1,956人 | 1,263人 | |
| ↘ | ↗ | ○地域防災の新たな担い手を育成した人数 | 75人 | 104人 | 130人 | 96人 | 114人 | |
| ↘ | ↗ | ○新しく健康づくり推進員になった人数 | コロナにより養成講座中止 | 99人 | 28人 | 25人 | 35人 | |
| ↗ | ↘ | ○子育てサポーター登録者数 | 1,425人 | 1,508人 | 1,493人 | 1,549人 | 1,424人 | |
| ↗ | → | ○子育てサポーターリーダー配置割合 | 68.5% | 73.0% | 73.0% | 75.4% | 75.4% | |
| ↘ | ↘ | ○新規設立NPO法人数 | 12法人 | 14法人 | 11法人 | 10法人 | 9法人 | |
| ↗ | ↘ | ○ボランティア登録団体数 | 616団体 | 537団体 | 583団体 | 616団体 | 612団体 | |
| ↗ | ↘ | ○地域づくりのリーダー育成につながるセミナー受講者数（合計） | 21人 | 46人 | 26人 | 41人 | 21人 | |
| | | 地域力アップセミナー 受講者数 | 21人 | 20人 | 16人 | 17人 | 13人 | |
| | | 女性リーダー国内研修 受講者数 | 0人 | 13人 | 0人 | 11人 | 0人 | |
| | | 生涯学習指導者育成セミナー 受講者数 | コロナにより中止 | 13人 | 10人 | 13人 | 8人 | |
| ↗ | ↗ | ○年長者大学校修了生の地域活動への参加状況 | 50.0% | 48.4% | 50.0% | 54.0% | 72.0% | |
| → | ↘ | ○生涯学習推進コーディネーター配置割合 | 46.2% | 50.8% | 36.9% | 36.9% | 30.0% | |
| ↗ | ↗ | ○ボランティアコーディネーターによるコーディネートした件数 | 2,150件 | 2,690件 | 4,386件 | 4,801件 | 4,918件 | |
| ↗ | ↘ | ○新しく地域学校協働活動推進員（旧地域コーディネーター）になった人数 | 38人 | 10人 | 23人 | 36人 | 23人 | |

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

| 計画実績評価・方針性 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|---------------------------|-------------------|---|-------------------|-------------------|--|------------------------------|---------|---------|-------------------------|----------|----------|----------|---|--|
| 具体的な施策 | 取組番号 | 事業事業 | 所管課 | 概要(目的) | R6年度予算額(千円) | R6年度決算額(千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 |
| (1)「学び」と「活動」を通した人材の発掘・育成 ①地域ボランティアの発掘・育成 | ① 31 | 地域福祉ボランティア研修事業 | 保健福祉局 地域福祉推進課 | 地域ニーズに対応した研修内容の充実、研修機会の拡大に努め、地域福祉やボランティア活動を担う人材の養成を行う。 | 25,300 | 25,295 | ニーズ・関心の高まっている「新たな福祉課題」に対応するためのボランティア養成や、活動者の資質向上を図るために取組を進めた。 | ボランティア大学校の研修・講習の開催回数 | 39回 | 23回 | ボランティア大学校の研修の受講者数(単年度) | 1,956人 | 1,263人 | b:順調 | 予算の減額に伴い、開催回数および受講者数が減少しているが、継続的にお問い合わせによる研修会の伝播やボランティア活動を通じて人材の養成に寄与していると考えられるため「順調」と判断。 | 研修受講後に実際の活動につなぐまでの一貫した支援を行い、市民のボランティア・市民活動への参加を促進し、引き続き地域福祉の向上を図っていく。 |
| | ① 32 | ボランティア活動促進事業 | 保健福祉局 地域福祉推進課 | 地域福祉の振興を図るため、北九州市社会福祉協議会が実施しているボランティアの育成、コーディネート、活動支援、関係機関との連携による情報収集・発信等のボランティア活動促進事業に対して補助している。 | 25,300 | 25,300 | 若者の自立支援機関と連携し、社会に踏み出したいと考えている若者に対してボランティア活動への参加機会を提供している。 | ボランティア活動に関する相談件数 | 35,986件 | 37,890件 | ボランティア登録団体数 | 616団体 | 612団体 | b:順調 | 継続的なボランティアの啓発や活動支援により、ボランティア登録団体数及びボランティア人口は、令和5年度と同程度の成果が出ているため、「順調」と判断。 | 研修受講後に実際の活動につなぐまでの一貫した支援を行い、市民のボランティア・市民活動への参加を促進し、引き続き地域福祉の向上を図っていく。 |
| | ① 33 | NPO・市民活動促進事業 | 総務市民局 市民活動推進課 | 市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・市民活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、講座の開催、NPO法人設立・運営支援などを行なう。 | 17,397 | 19,498 | 講座は、団体のニーズの変化にあわせて講座内容を変更し、参加したくなるよう講座を実施。新規設立法人数は令和5年より減ったものの例年どおりの設立数であった。 | 講座実施数 | 16件 | 17件 | 新規設立NPO法人数(累計) | 10法人 | 9法人 | b:順調 | 講座実施数、新規設立NPO法人数ともに順調に推移しているため、「順調」と判断。 | 市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 |
| | ① 34 | みんな de Bousai まちづくり人材育成事業 | 危機管理室 危機管理課 | 大学と協働し、防災科目を新設するなど、市内の大学生を対象に、防災教育を実施し、学生自身が災時に判断し行動できる知識を身につけて、地域コミュニティにおいて新たな地域防災の担い手として活動できる人材を育成する。 | 1,608 | 499 | 北九州市立大学と協働し、防災授業「地域防災への招待」(全15コマ)を実施したほか、市内大学生を対象とした公開講座(R6.5.25)を開催した。 | 地域防災の新たな担い手を育成した人數 | 96人 | 114人 | 地域防災の新たな担い手を育成した人數 | 96人 | 114人 | a:大変順調 | 地域防災の新たな担い手を育成した人數が前年度より大幅に上回っているため、「大変順調」と判断。 | 引き続き対面での授業に加え、オンラインでのライブ配信やオンラインでの情報提供を行い、学生に多様な学習の機会を提供することで、地域防災を担う人材の育成を行なう。 |
| | ① 35 | 子育てネットワークの充実 | 総務市民局 生涯学習課 | 子育て中の親子を温かく迎え入れ、身近な相談相手となるとともに、親子同士をつなぎ、親子の成長を地域で見守る環境づくりのため、「子育てサポーター」を育成する。 | 270 | 307 | 登録者数 1,424人 うち子育てサポーターリーダー登録者数 165人 | 子育てサポーター養成講座の実施 | 実施 | 実施 | 子育てサポーター登録者数 | 1,549人 | 1,424人 | c:やや遅れ | 子育てサポーター登録数は前年比9.2%と減少しており、令和6年度新規登録者数は120人いる一方、辞退者等が多くいるため「やや遅れ」と判断。 | 子育てサポーターの養成後、実際の活動へと円滑につながり、登録数を継続的に促すため、サポーターが活躍できる講座の開講や活動の場を提供を図ることで、フォローアップ研修の充実を図る。 |
| | ② 36 | 住民主体の地域づくりの促進 | 総務市民局 地域振興課 | 地域コミュニティの重要性の理解促進を図ることを目的とした各種事業を通じて、住民主体の地域づくりを促進する。 | 2,006 | 726 | 地域づくり活動への参加者の割合目標50% 実績30.7% 達成率61.4% | まちづくり専門家派遣事業を利用したまちづくり協議会の割合 | 25.0% | 30.00% | 地域づくり活動への参加者の割合 | 29.7% | 30.7% | b:順調 | 「まちづくり専門家派遣事業を利用したまちづくり協議会の割合は30.7%であり、いすれもR5年度の実績を上回っているため「順調」と判断。 | まちづくり協議会等の地域団体に地域の課題解決に主体的に取り組んでいくことで、まちづくり専門家派遣制度の活用など、地域の実情やニーズに応じた支援を行なう。 |
| | ② 37 | 地域力アップセミナー | 総務市民局 生涯学習総合センター | 地域への帰属感や連帯感を共有でき、学んだ成果を地域で活かすことができる人材の育成を目的としており、受講生が自ら学習し、主体的に関わることで地域づくりを実践的に学ぶ講座となっている。 | 柱1/北九州市民力レッジ事業に含む | 柱1/北九州市民力レッジ事業に含む | 実施期間：6/4～8/6 講座回数：10回（4時間/回） 受講者数：13名 単位認定者：12名 | 受講者数 | 17名 | 13名 | 受講者の満足度 | 91.7% | 100.0% | b:順調 | 受講者の満足度は、「大変参考になった」と参考になったことを合わせて100%であるが、受講者数が減少傾向にあるため「順調」と判断。 | 講座内容が蔓利化しないよう、新しい講師やテーマの見直し等工夫していい。満足度だけではなく、受講者数を増やすことに努めたい。 |
| | ② 38 | 健康づくり推進員養成・活動支援事業 | 保健福祉局 認知症支援・介護予防課 | 市民主体の健康づくりを推進するため、地域における健康づくり活動のリーダーの育成を行う。 | 3,918 | 3,871 | 養成研修の内容を一部変更し、R6年度から「初任者研修」として実施することになった。また、地域での健康づくり推進員の活動を適宜支援することができた。 | 養成研修の受講者数 | 25人 | 35人 | 健康づくり推進員が関わる活動への参加者数の増加 | 263,068人 | 277,268人 | b:順調 | 健康づくり推進員初任者研修、スクールアドバイザー研修等の研修等で地域で健康づくりの介護予防活動をするうえで必要な内容に適宜調整しながら実施することができた。また、安全に活動を継続できた。 以上から「順調」と判断。 | 健康づくり・介護予防活動を安全に継続できるようにする。引き続き、高血圧予防・オーバルハーツ・フレイル予防に関する活動を継続しながら、健診に関する学習等も深めていく。 |
| | ② 39 | 生涯学習指導者育成セミナー | 総務市民局 生涯学習課 | 地域課題に対する地域福祉活動、まちづくり推進活動、子育て活動などに総合的に取り組める、生涯学習を推進するための人材育成を目指す。 | 750 | 750 | 市民の力を活用したまちづくりや生涯学習を推進するための人材育成を目的に高度かつ専門的な地域・技術の習得に向けた研修を実施した。 受講者数 8名 | 生涯学習指導者育成セミナーの実施 | 実施 | 実施 | 生涯学習指導者育成セミナー修了率 | 100.0% | 100.0% | b:順調 | 生涯学習指導者育成セミナー修了率が5年度に引き続き100%であったため、「順調」と判断。 | 本市の生涯学習の取り組みや受講者の声を踏まえ、実施回数の見直しや内容の充実を図る。 |
| | ② 40 | 地域における女性リーダー育成セミナー | 総務市民局 生涯学習総合センター | 人材育成事業の一環として、地域活動の担い手、リーダーを目指す女性を対象に実施するもの。地域活動をするうえで必要な視野や視点を育むとともに、課題解決に向けて自分に何ができるかを考え、行動する力を育む。 | 166 | 0 | 中止 | 国内研修応募者数 | 11名 | 0名 | 研修参加者の満足度 | 100.0% | 0.0% | d:遅れ | 応募者がなく、中止となつたため「遅れ」と判断。 | 講座回数、時間を見直し受講しやすい講座にするとともに、地域の狙いとする女性人材の育成に重点を置いた内容に見直したい。 |

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

| 計画 | | | | | | | | | | 実績 | | | | | | 評価・方向性 | | |
|--|----|----|-------------------------|-------------------|---|---------------------|---------------------|--|----------------------|--------|--------|---------------------|-------|-------|----------|--|--|--|
| 具体的な施策 | 取組 | 番号 | 事務事業 | 所管課 | 概要（目的） | R6年度予算額（千円） | R6年度決算額（千円） | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度進捗状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 | |
| (2)「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成 ①「学び」と「活動」をコーディネートする人材の発掘・育成 | ① | 41 | 社会教育・生涯学習関係職員研修の充実 | 総務市民局 生涯学習課 | 社会教育施設や市民センター、地域における学習・交流の機会の提供は、現代的・社会的課題の解決に向けてますます重要な役割を担う。今後も、これらの施設で、多様かつ有効な生涯学習事業等を推進することができるよう、関係する職員等の研修の充実を図る。 | 639 | 578 | ・市民センター館長研修 開催回数10回 ・市民センター職員等研修会 開催回数1回 | 市民センター職員等研修会参加者数 | 234人 | 285人 | 参加者の満足度 | 91.0% | 95.7% | a:大変順調 | 市民センター館長研修は、R5年度と同様に研修を企画・実施することができた。また、市民センター職員等研修会では、参加者数が昨年度から約50名増加、満足度も上昇していることから「大変順調」と判断。 | 引き続き、研修の中で、社会教育・生涯学習事業に関する事例発表や市民センター館長同士、職員同士の情報交換を行う機会を設ける。 | |
| | | 42 | 生涯学習推進コーディネーター配置事業 | 総務市民局 生涯学習課 | 全市の生涯学習推進コーディネーターが一堂に会し、意見交換や情報交換を行い、交流を深めることで、より地域の学びと活動を活性化する専門人材となるよう研修会を実施する。 | 2,561 | 1,808 | 研修実施 登録者数 39名 市民センターへの配置割合 30.0% | 生涯学習推進コーディネーター研修会の実施 | 100.0% | 100.0% | 生涯学習推進コーディネーターの配置割合 | 36.9% | 30.0% | d:遅れ | 生涯学習推進コーディネーターの市民センターにおける配置割合が、R5年度と比べ6.9%減少しているため「遅れ」と判断。 | 生涯学習推進コーディネーター配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを市民センター館長に社会教育主事等が助言しながら、配慮割合の増加に向け取り組む。また、生涯学習推進コーディネーターを地域の人材として育成するための研修を実施し、研修で学んだ内容を実践につなげられるように支援を行う。 | |
| | ① | 43 | 地域学校協働活動推進員（地域学校協働活動事業） | 教育委員会 次世代教育推進課 | 地域等と学校とのパイプ役として、学校の要望に応じて、スクールヘルパー等の人材を発掘し、「地域学校協働活動」を推進する。 | 柱3/コミュニティ・スクール事業に含む | 柱3/コミュニティ・スクール事業に含む | 地域学校協働活動推進員研修会を実施し、活動内容の周知と促進を図った。また地域学校協働推進員とコミュニティ・スクールの具体的な充実について、周知を行った。 | 学校支援地域本部設置中学校区数 | 62校区 | 62校区 | 各実施校から得られた教育的効果 | 52校 | 57校 | b:順調 | 各校区の報告書から、各校区によって地域の特色ある取組を行っていることが伺えるため、「順調」と判断。 | 地域学校協働活動推進員の実践発表会を行い、各学校の取組を共有する。また、学校運営協議会への積極的な参加を促し、地域とともにあら学校づくりを推進していく。 | |

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

1 全体評価

| 令和5年度 | 令和6年度 | |
|-------|-------|--|
| B 順調 | B 順調 | <p>(1) 指標の「『活動を通じて、仲間や友人ができた』と回答した人の割合」は、32.1%と前年度比4.3ポイント下がっている。「『住んでいる地域や北九州市が好き』と回答した児童生徒の割合」は、R6年度は調査を行っていないため「数値なし」となっている。「『人の役に立つ人間になりたい』と思う児童生徒の割合」は、全国平均と同程度となっている。「『地域の行事に参加する』という児童生徒の割合」は、R6年度は本項目に関する質問がなかったため「数値なし」となっている。「『子育てに関する悩みや不安を感じる』と回答した保護者の割合」は、いずれも前年度から増加している。「地域・子ども交流事業参加者数」は、前年度比5,819人減少している。</p> <p>(2) モニタリング項目を見ると、各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数が増加している。青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数も前年度と同程度となっている。地域・子ども交流事業の開催回数は、前年度比412回減少している。</p> <p>(3) 事業評価表の個別事業については、概ね「順調」である。</p> <p>総体的には「B 順調」とした。今後も各事業を通じて、子どもたちが地域に親しみを持ち、人や社会に关心を持てるよう、人や地域などのつながりの機会を広げていく。</p> |

2 指標等

| ◎指標 | | 指標 | | 現状値 | 参考 | 目標 | | | |
|----------|----------|---|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| R5 評価 | R6 評価 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| D | D | 「活動を通じて、仲間や友人ができた」と回答した人の割合 «市政モニターアンケート» | 参考値 | | | 48.3% | 51.2% | 54.1% | 57.1% |
| | | | 実績 | 45.4% | 48.5% | 37.7% | 26.7% | 36.4% | 32.1% |
| | | | 達成率 | | | 78.1% | 52.1% | 67.3% | 56.2% |
| A | - | 「住んでいる地域や北九州市が好き」と回答した児童生徒の割合 «北九州市学力状況調査» | 参考値 | | | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
| | | | 実績 | 89.7% | 91.1% | 92.6% | 93.9% | 94.3% | |
| | | | 達成率 | | | 101.6% | 101.4% | 100.4% | |
| | | 小15 | 参考値 | | | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
| | | | 実績 | 87.3% | 85.7% | 88.7% | 89.8% | 89.3% | |
| | | | 達成率 | | | 103.5% | 101.9% | 100.0% | |
| B | B | 「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合 «全国学力・学習状況調査» | 参考値 | | | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
| | | | 実績 | 94.4% | - | 95.4% | 95.1% | 95.7% | 96.2% |
| | | | 国(実績) | 95.2% | - | 95.5% | 95.1% | 95.9% | 95.9% |
| | | | 達成率 | | | 99.9% | 100.0% | 99.8% | 100.3% |
| | | 小16 | 参考値 | | | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
| | | | 実績 | 94.5% | - | 95.3% | 94.9% | 94.4% | 94.9% |
| | | | 国(実績) | 94.3% | - | 95.0% | 95.0% | 94.6% | 95.2% |
| | | | 達成率 | | | 100.3% | 99.9% | 99.8% | 99.7% |

| R5 評価 | R6 評価 | 指標 | | | 現状値 | 参考 | | | | 目標 |
|----------|----------|---|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| B — | — | 「地域の行事に参加する」という児童生徒の割合 «全国学力・学習状況調査» | 小6 | 参考値 | | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 |
| | | | | 実績 | 71.9% | — | 59.7% | 50.5% | 49.8% | |
| | | | | 国(実績) | 68.0% | — | 58.1% | 52.7% | 57.8% | |
| | | | | 達成率 | | 102.8% | 95.8% | 86.2% | | |
| | | | 中3 | 参考値 | | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 現状値以下 |
| | | | | 実績 | 59.2% | — | 46.4% | 35.4% | 39.0% | |
| | | | | 国(実績) | 50.6% | — | 43.7% | 40.0% | 38.0% | |
| | | | | 達成率 | | 106.2% | 88.5% | 102.6% | | |
| C D | D | 「子育てに関する悩みや不安を感じる」と回答した保護者の割合 «元気発進！子どもプラン（第3次計画）」点検・評価に伴う市民アンケート» | 就学前児童 | 参考値 | | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 |
| | | | | 実績 | 35.50% | 40.9% | 41.0% | 44.3% | 44.4% | |
| | | | | 達成率 | | 86.6% | 80.1% | 80.0% | 59.8% | |
| | | | 小学生 | 参考値 | | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | |
| | | | | 実績 | 41.6% | 39.6% | 44.4% | 47.6% | 50.8% | |
| | | | | 達成率 | | 93.7% | 87.4% | 81.9% | 64.2% | |
| | | | 中・高生 | 参考値 | | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | 現状値以下 | |
| | | | | 実績 | 40.2% | 43.6% | 43.5% | 53.8% | 44.7% | |
| | | | | 達成率 | | 92.4% | 74.7% | 89.9% | 64.1% | |
| A C | C | 地域・子ども交流事業 参加者数（人） «所管課集計» | | 参考値 | | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 | 前年度以上 |
| | | | | 実績 | 55,370 | 14,390 | 19,538 | 33,361 | 40,298 | |
| | | | | 達成率 | | 135.8% | 170.7% | 120.8% | 85.6% | |

A：大変順調（100%以上）

B：順調（90%以上）

C：やや遅れ（70%以上）

D：遅れ（70%未満）

◎モニタリング項目

全13項目中 ↗ 3項目 ↘ 7項目 → 2項目 ━ 1項目

| R5 推移 | R6 推移 | モニタリング項目 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
|----------|----------|--|-----------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------|
| ↗ | ↘ | ○文化財に関する一般向け・子ども向け講座の開催回数 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | 2回 | 1回 | |
| ↗ | ↘ | ○文化財に関する一般向け・子ども向け講座の参加人数 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | 34人 | 17人 | |
| ━ | → | ○文化財に関する小学校等への出前講座開催回数 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | 0 | 0 | |
| ━ | → | ○文化財に関する小学校等への出前参加人数 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | コロナにより中止 | 0 | 0 | |
| ↗ | ↗ | ○各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数 | 428人 | 262人 | 1,867人 | 2,639人 | 3,970人 | |
| ↗ | ↗ | ○スポーツ観戦率 | 15.2% | 14.9% | 19.9% | 22.9% | 23.8% | |
| ↘ | ↘ | ○朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合 | 調査中止 | 小6：92.0% 中3：90.9% | 小6：91.3% 中3：89.7% | 小6：89.6% 中3：88.1% | 小6：89.4% 中3：87.8% | |
| ↘ | ━ | ○家庭教育学級長向けアンケート満足度 | 調査中止 | 71.7% | 91.0% | 86.0% | 調査中止 | |
| ↘ | ↘ | ○コミュニティ・スクール（学校運営協議会）委員に参画している地域関係者の人数 | 市型622人 国型17人 | 市型846人 国型71人 | 市型982人 国型71人 | 市型983人 国型67人 | 市型876人 国型158人 | |
| ↗ | ↗ | ○地域学校協働活動事業の実施校において、教育的効果があったと回答した学校の数 | 33校 | 39校 | 48校 | 52校 | 57校 | |
| ↗ | ↘ | ○青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数 | 2,329人 | 2,973人 | 3,852人 | 3,983人 | 3,979人 | |
| ↘ | ↘ | ○新科学館の入館者数 | 実績なし | 実績なし | 510,063人 | 398,883人 | 338,387人 | |
| ↗ | ↘ | ○地域・子ども交流事業開催回数 | 818回 | 818回 | 1,530回 | 1,777回 | 1,365回 | |

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

| 計 画 | | | | | | | | 実 績 | | | | | | | | 評 価 ・ 方 向 性 | | | |
|---|----|----|---------------------|--------------------|---|---------------------|---------------------|--|-----------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|--------|--------|------------------|---|---|--|--|
| 具体的な施策 | 取組 | 番号 | 事務事業 | 所管課 | 概要（目的） | R6年度 予算額 (千円) | R6年度 決算額 (千円) | 令和6年度実績・実施状況 | 活動指標 | R5年度 | R6年度 | 成果指標 | R5年度 | R6年度 | R6年度 進捗 状況 | 進捗状況の評価理由 | 今後の方向性 | | |
| (3) 学校と家庭・地域がつながる教育力の向上 ①家庭教育支援の充実 ②家庭・地域・学校の連携促進 | ① | 53 | 親力アップ情報発信 | 総務市民局 生涯学習課 | 核家族化や共働き世帯など、子どもや家庭を取り巻く環境の変化に合わせて、いつでもどこでも家庭教育の役立つ情報が得られるよう、子育て支援につながる情報提供を行う。 | 1,188 | 459 | R6年度は「キタキュー親力アップ漫画」の更なる周知を図るために漫画のハルティックズ（携帯除菌ウェットテッシュ）を作成し、全市民センターに配布した。 | | | | アクセス件数 | 7,390件 | 5,034件 | c:やや遅れ | R6年度は漫画のPR活動を行ったが、成果指標であるアクセス件数は前年度に届かなかったため「やや遅れ」と判断。 | 子育て世代のニーズに合った新漫画を作成し、PRの方法も検討していく。 | | |
| | ② | 54 | コミュニティ・スクール事業 | 教育委員会 次世代教育推進課 | 学校運営及び学校運営に必要な支援に関して協議する「学校運営協議会」を設置、地域住民が学校運営への参画を促進し、学校と地域との連携を促進し、「地域とともにある学校づくり」を進める。 | 27,178 | 21,324 | 国型コミュニティ・スクールが19校増加し、それらの学校に対しては初回の訪問支援を行い、円滑な運営ができるようにした。 | 学校運営協議会の設置数（市型、国型） | 市型 188校 国型 13校 | 市型 170校 国型 32校 | | | | b:順調 | 国型コミュニティ・スクールが19校増加し、その他の学校では全校で市型コミュニティ・スクールを実施したため、「順調」と判断。 | 今後も継続して国型のコミュニティ・スクールの検証や実践発表を行い、効果的な活用や重要性等を周知する。令和8年度にはすべての学校で国型コミュニティ・スクールを実施する。 | | |
| | ③ | 55 | 地域学校協働活動事業 | 教育委員会 次世代教育推進課 | 多くの幅広い層の地域住民、団体等が参加し、また、活動を通じて地域社会全体の教育力の向上を図り、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進する。 | | | 地域学校協働活動推進員研修会を実施し、活動内容の周知と促進を図った。また地域学校協働推進員とコミュニティ・スクールの一体化的な充実について、周知を行った。 | 学校支援地域本部設置中学校区数 | 62校区 | 62校 | 各実施校から得られた教育的效果 | 52校 | 57校 | b:順調 | 各校区の報告書から、各校区によって地域の特色ある取り組みを行っていることが伺えるため、「順調」と判断。 | 地域学校協働活動推進員の実践発表会を行い、それぞれの学校の取組を共有する。また学校運営協議会への積極的な参加を促し、地域とともにある学校づくりを推進できるようにする。 | | |
| | ③ | 56 | 青少年ボランティアステーション推進事業 | 子ども家庭局 こども若者成育課 | 青少年の成長に欠かすことのできない様々な体験活動等を通じ、青少年が社会の構成員として規範意識や社会性、協調性等を身に付けることができるよう、青少年ボランティアステーションを拠点に、青少年の体験活動を支援、促進する。 | 1,400 | 1,382 | ホームページの積極的活用とkintoneの使用、ボランティア活動証明書の電子化等により事務の効率化と経費の節減を図っている。また、ボランティア活用経験の豊富な主催者への管理移譲を進めることにより幅広いボランティア活動を提供し、北九州市の青少年のより豊かな人間性を育んでいくことを目指している。 | 「ボランティア出前事業」参加児童数・生徒数 | 83人 | 51人 | 青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数 | 3,983人 | 3,979人 | b:順調 | 活動参加者数は横這いだが、業務効率化についてはかなりの成果が表れている。 また、経費削減についても通信費の削減によつてかなり進めたことができたが、ボランティアに参加する青少年の数の増加を図る。 | ボランティアの活用経験が豊富な主催団体等への管理体制サポートや活動のすそ野を広げる取り組みを継続することを通して、ボランティアに参加する青少年の数の増加を図る。 | | |

生涯学習推進計画関連事業費 予算決算比較 【令和6年度】

(単位:千円)

| | | R6予算【A】 | R6決算【B】 | 不用額【A-B】 |
|----|--------|-----------|-----------|----------|
| 柱1 | 事業費 | 5,217,218 | 5,047,048 | 170,170 |
| | 内、主要施策 | 969,232 | 917,846 | 51,386 |
| 柱2 | 事業費 | 164,871 | 161,303 | 3,568 |
| | 内、主要施策 | 79,915 | 78,632 | 1,283 |
| 柱3 | 事業費 | 666,824 | 589,425 | 77,399 |
| | 内、主要施策 | 184,587 | 175,679 | 8,908 |
| 計 | 総事業費 | 6,048,913 | 5,797,776 | 251,137 |
| | 内、主要施策 | 1,233,734 | 1,172,157 | 61,577 |

生涯学習推進計画関連事業費 決算決算比較 【令和5・6年度】

(単位:千円)

| | | R5決算【a】 | R6決算【b】 | 増減【b-a】 |
|----|--------|-----------|-----------|----------|
| 柱1 | 事業費 | 5,421,400 | 5,047,048 | -374,352 |
| | 内、主要施策 | 1,039,638 | 917,846 | -121,792 |
| 柱2 | 事業費 | 165,909 | 161,303 | -4,606 |
| | 内、主要施策 | 86,492 | 78,632 | -7,860 |
| 柱3 | 事業費 | 534,551 | 589,425 | 54,874 |
| | 内、主要施策 | 165,476 | 175,679 | 10,203 |
| 計 | 総事業費 | 6,121,860 | 5,797,776 | -324,084 |
| | 内、主要施策 | 1,291,606 | 1,172,157 | -119,449 |

※事業費については、一部計上となっているものを除く。